

応募428件過去最多

学生倍増 「挑戦の舞台」定着

エントリー終了



GUNMA
INNOVATION
AWARD
2019

切られた。エントリー総数は前年比26件増の428件で過去最多を更新、大学生・専門学校生の部は2・7

倍に増えた。総数は6年連続で増加、2013年の初回に比べて7・5倍に膨らみ、起業を目指す人たちの挑戦の舞台として定着してきた。

起業家発掘プロジェクト「群馬イノベーションアワード(GIA)2019」のエントリーが17日に締め

起業や第二創業を目指す「ビジネスプラン部門」のうち、大学生・専門学校生の部が69件増の109件、

一般の部が10件増の48件だった。専門学校生の増加が目立った。高校生の部は44件減の251件。

創業5年未満の起業家が対象の「スタートアップ部門」は11件、創業5年以上の事業者を対象にした「イノベーション部門」は9件だった。

内容は福祉や介護、医療、流通、働き方、外国人材の活用など、社会が直面する今日的な課題の解決を目指

すテーマが目立った。

プロジェクトを支援する金融機関「フィナンシャルサポーター」が10月上旬までに書類審査をする。通過者は2次プレゼンテーション審査(10月27日、上毛新聞社)で各部門・部の原則3組、計15組に絞られ、ファイナルステージ(12月7日、ヤマダグリーンドーム前橋)の公開最終審査に挑む。

GIAは上毛新聞社が主催、田中仁財団が共催。「群を抜け」のキャッチフレーズを掲げている。ジンズホールディングス、コシダカホールディングス、相模屋食料、オープンハウス、セガサミーホールディング

スの経営者らでつくる実行委員会が中心となり実施している。